

## 欧州紀行(2) ポーツマス

2023-6-16 池田良穂

サウサンプトン港の対岸の町ハイスに滞在していましたが、到着日及び翌日は、レッド・ファンネル社のワイト島航路船の他には、船の動きはほとんどなく、しかも午前中は逆光状態のためにハイスでのシップウォッチングは止めて、隣の港町ポーツマスまで足を延ばすことにしました。サウサンプトンからポーツマスまでは車で 30 分ほどの距離で列車もあります。

さてポーツマスは、軍港で有名ですが、ワイト島へのフェリー航路、イギリス海峡を渡ってフランスへ行く国際フェリー航路もあり、またウォーターフロント開発も進んでいて、とても楽しい港町です。ウォーターフロントの中心にはスピネーカー・タワーと呼ばれる展望タワーが聳え立ち、保存艦「ワーリア」、造船博物館などもあり、港巡りの遊覧船も 1 時間おきにでています。3 時間ほど滞在して、たくさんの船に出会うことができました。



ワイト島航路の新鋭カーフェリー「Victoria of Wight」。ワイトリンク社の運航で、船体には「ハイブリッド・エナジー」との表示があります。帰国してから、どのようなハイブリッドシステムなのか調べてみたいと思っています。



ワイトリンクのカーフェリー「St. Clare」。両頭型のカーフェリーです。



ワイトリンクのカーフェリー「St. Faith」。船体の大きさに比べてブリッジが大きい特異な外観をしています。



ワイトリンクの高速旅客船「Wight Rider I」。



ワイトリンクの高速旅客船「Wight Rider II」。



ポーツマス港内遊覧を行う「Ali Cat」。料金はシニアで 10 ポンド、2400 円ほどでした。船長の船の紹介アナウンスを聞きながら、港を約 40 分で巡りました。



以下、港内遊覧船の上からのシップウォッチングです。まず保存艦「ワリア」の横を通りました。



展示されている小型艦艇群。船員さんの話によると、どの船も動かすことができチャーターができるとのこと。保存しているのは Portsmouth Naval Base Property Trust という団体です。



英海軍空母「Queen Elithabeth」の横を通過しました。



海軍基地ではたくさんの軍艦の姿を見ることができます。



国際フェリー埠頭に停泊していた貨物フェリー「COMMODORE GOODWILLNESS」。



フランス航路に就航する大型カーフェリー「Saint St Mihell」。



ウォーターフロントのシンボルスピナーカー・タワー。ワイト島に行くカーフェリー、高速旅客船のターミナル、港内遊覧船の発着場も近くにある。レストランもたくさんあり、港に入る船を眺めながらの食事が楽しめる。



ポーツマスのウォーターフロントと、対岸のゴスポートとを結ぶフェリー。



ポーツマス港の沖には、ワイト島とを結ぶホーバークラフトが疾走する姿も遠望できた。